

<図・写真>



<材料・製作方法等>

【材料】

- ・ 木材
- ・ 黒ひげ危機一髪
- ・ 取っ手
- ・ ボルト
- ・ 釘

【製作方法】

- ・ 木材を切って、角をとる。
- ・ 取っ手を付ける。
- ・ 板とタルに穴を開け、ボルトでつなぐ。

<ねらい>

- 麻痺がある手を補助的に使いながら、もう一方の手指の巧緻性を高める。
- 一人で、活動する。

<指導方法・留意点等>

- 滑り止めやクランプ等を使用して、机や座位保持装置テーブルに固定する。
- 麻痺がある手は、麻痺の状態によって教師が支援しながら、取っ手をつかむようにする。

<指導経過・成果・課題・展望等>

【指導経過・成果】

左手を操作すると、麻痺がある右手に力が入り、引き込んでしまうことが多かった。麻痺がある右手を使いながら、活動ができないかと思い作成した。当初は、取っ手を棒状のものにしていたが、手が取っ手から離れてしまうことも多く、現在の取っ手に改良した。教師と一緒に取っ手をつかんでから活動を始めると、左手を操作していても、右手は取っ手をつかみ続けることができた。

左手は、最初は、穴以外のところに剣を刺そうとしたり、方向を考えずに力づくで刺そうとしたりすることが多かった。回数を重ねるうちに、自分で持ち方を変えたり、方向に気を付けたりしながら、刺せるようになってきた。人形が跳ぶことを期待して、剣を刺す様子も見られるようになった。また、タルを回すことができるように改良したことで、自分でタルを回し、空いている穴を探して、刺すことができるようになってきている。

【展望】

- ・ 本体の穴に色を塗っておくことで、色の弁別課題などにも使用していきたい。
- ・ 黒ひげの部分は他の教材教具を付け替えることができるため、他の課題にも麻痺がある手を補助的に使いながら、1人で取り組めるようにしたい。

